株式会社TECNES

2023年度環境経営レポート

（対象期間: 2023 年10月1日 ～　2024 年9月30日　　）

エコアクション21
認証番号0012574

作成日:　2024年10月25日
更新日:　2024年10月31日

目　　次

項　　目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
社内取り組みの紹介	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8
各工事事務所の活動紹介	11
環境上の緊急事態への準備及び対応	12
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	13
代表者による全体の評価と見直し・指示	13

株式会社 TECNES

□あいさつ

当社では、安全施工や個人情報保護を徹底し
お客さまに安心してご依頼いただける環境づくりに積極的に取り組んでおります。
技術面でも、安全面でも、ナンバーワンを誇れるような企業を目指し、
これからも安心かつ最先端のネットワーク技術をお客さまに提供してまいります。

― 企業理念 ―

我々は工事施工を通じて経済の発展を支えるとともに、
世界中の人々に喜びと感動を届け　笑顔あふれる社会を実現します

― ミッション ―

『全てはお客さまのために』を一番に考え、我々にしかできない
技術・安全・絆を追求し、最高の満足を与えるサービスを提供します

― バリュー ―

一、レベルの高い技術力で最高の品質を提供する
二、レベルの高い安全力で最高の安心を提供する
三、レベルの高い組織力で最高の喜びを提供する
四、レベルの高い人間力で最高の喜びを提供する

令和5年度　安全スローガン

工事安全 -　チョットした　無理・無駄・焦りが　事故のもと　事前のKY確実に

環 境 経 営 方 針

＜環境経営理念＞

当社は、電気通信工事で発生する車両燃料・事務所電力などの環境負荷を削減することが最優先と考え、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に従業員一団となって継続的改善に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規その他当社が約束したことを遵守します
2. 事務所電気と車両燃料による二酸化炭素排出量を重点的に削減します
3. 事務所ごみと現場から発生する産業廃棄物をリサイクルします
4. 節水します
5. 少量の化学物質を管理します
6. 施工品質の向上の為、技能・技術・管理能力を伸ばします
   安心で安全な品質を提供します
7. 事務所周辺清掃やボランティアなど積極的に参加します

制定日：2017年10月1日

改定日：2020年11月1日

代表取締役社長　　田中 義和

□組織の概要

更新日:　2024年10月25日

（1）名称及び代表者名
株式会社TECNES
代表取締役　田中　義和

（2）所在地
本社・大阪工事事務所　大阪府東大阪市川俣1-6-10
千葉工事事務所　千葉県船橋市若松2-6-1若松団地211（2024年10月移転）
仙台工事事務所　宮城県仙台市若林区種次字中野東36-3（2023年6月移転）

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　取締役　清水孝二　TEL:06-6618-7307
担当者　施工管理部　住本　真夕　TEL:06-6618-7307

（4）事業内容
電気・電気通信設備構築工事、イルミネーション・イベント設営、ドローンによる測量・調査・点検業務

（5）事業の規模
売上高　7 億円

	大阪工事事務所	千葉工事事務所	仙台工事事務所	合計
従業員	15	5	2	22
延べ床面積	500	93	86	679

（6）事業年度　10月～翌年9月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:　株式会社TECNES
本社・大阪工事事務所
千葉工事事務所
仙台工事事務所

活動:　電気・電気通信設備構築工事、イルミネーション・イベント設営、ドローンによる測量・調査・点検業務

□事業内容の紹介

主な事 業の紹介
・電気工事
・電気通信設備構築工事
・イベント

サービスの紹介
・ドローンによる測量・調査・点検業務

許可の紹介:
◆一般建設業
電気通信工事業・電気工事業・土木工事業・石工事業・ほ装工事業・塗装工事業・とび・土工工事業・鋼構造物工事業・しゅんせつ工事業・水道施設工事業
許可番号:国土交通大臣許可(般-5)第27222号　許可年月日:令和5年9月12日

◆産業廃棄物収集運搬業
許可番号:第02700185324号　許可年月日:平成27年10月29日

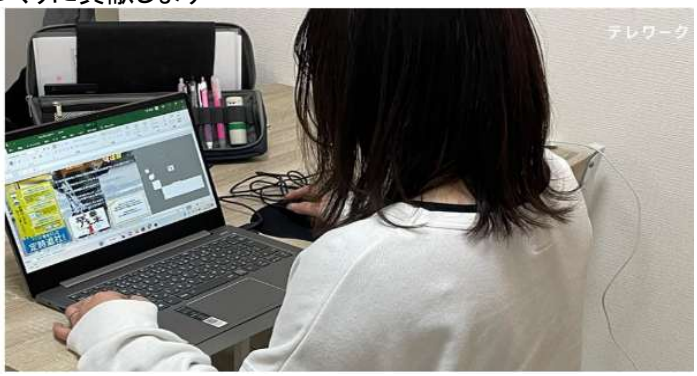
資格者リストなど

一級土木施工管理技士　1名　一級建設機械施工技士　・一級電気施工管理技士・DD第一種・AI・DD総合種・管理技能者・高所作業車運転・小型移動式クレーン運転・第二種酸素欠乏危険作業主任者・酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者・危険物取扱者・第二級陸上無線技士・航空特殊無線技士・高圧・低圧電路作業者・低圧電気取扱者・ガス溶接技能・第二種電気工事士

□社内取組の紹介

社会への貢献

日常生活に欠かせない電力を様々な電気工事によって、エネルギー供給に携わっています。
また、インターネット通信のためのインフラ設備構築工事に携わり、快適な通信環境を構築します。
電柱の腐食などによる倒壊の危険回避、地震や自然災害時の被害減少だけでなく、
ライフラインの早期復旧にあたり、住み続けられるまちづくりに貢献します



■持続可能な社会

● ecoアクション21　認証番号0012547

節水・節電を心掛け、地域の清掃活動も
定期的に行います。

● 3S活動

「整理・整頓・清掃」を徹底し事務所ゴミと現場から
発生する産業廃棄物を分別・リサイクルを
することによって持続可能な社会を目指します

■社内安全教育

施工品質の向上の為、技能・技術・管理能力を伸ばし
安心で安全な品質を提供します。その為の教育を
定期的に実施し、品質・安全・組織力・人間力の
向上を目指します。

■健康・仕事と家庭両立支援

● 健康経営優良法人認定

年2回の健康診断・インフルエンザ予防接種の推奨
(会社負担)・ヘルステックマシン設置など、社員の健康維持
のための環境を整えています。

社員が仕事と生活の両立支援として
「育児休職」「テレワーク」の導入をしています。

● 社員の仕事と生活両立支援

■平和と公正をすべての人に

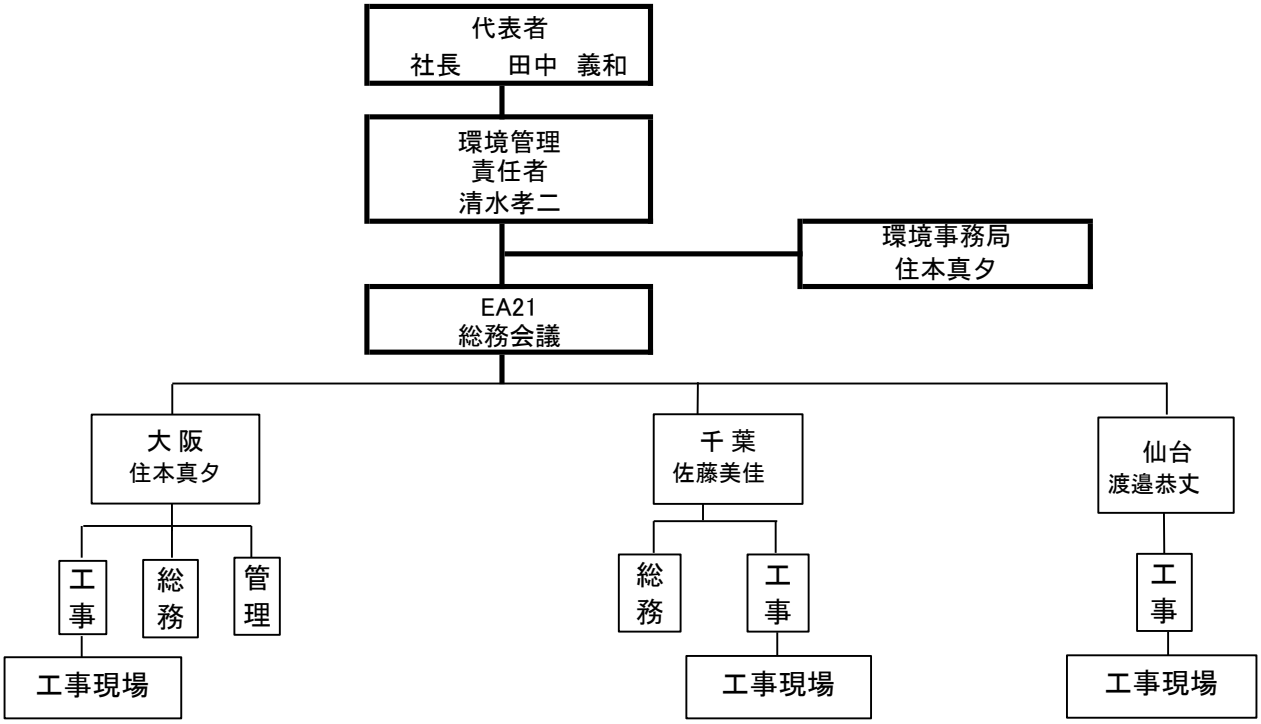
● プライバシーマーク認定

登録番号：第20002398(02)号

日本産業規格「JISQ15001個人情報保護マネジメントシステム
要求事項」に適合し,個人情報について適切な保護措置
を講ずる体制を整備しています。

□実施体制図及び役割・責任・権限表

更新日： 2023年10月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21総務会議	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

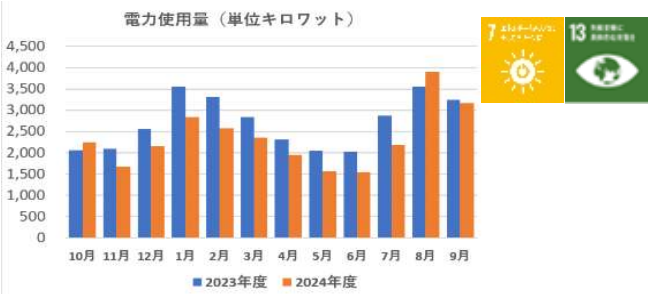
項　目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素 総排出量	kg-CO_2	160,331	141,718	82,076
廃棄物排出量	トン	14.90	15.13	10.62
一般廃棄物排出量	トン	0.81	0.71	0.34
産業廃棄物排出量	トン	14.09	14.42	10.28
水使用量		0	0	0

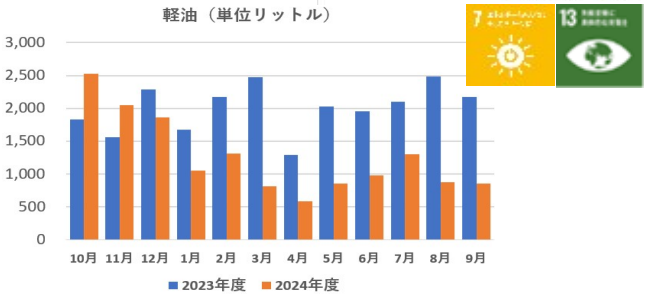
※電力の二酸化炭素排出量換算値　　0.311　　kg-CO2/kWh　関電R3年度調整後

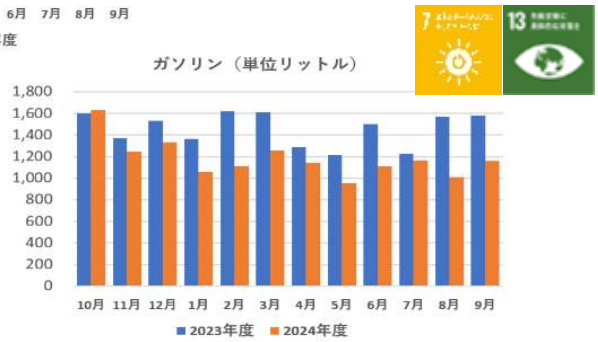
※産業廃棄物には金属、ケーブルの売却重量含む

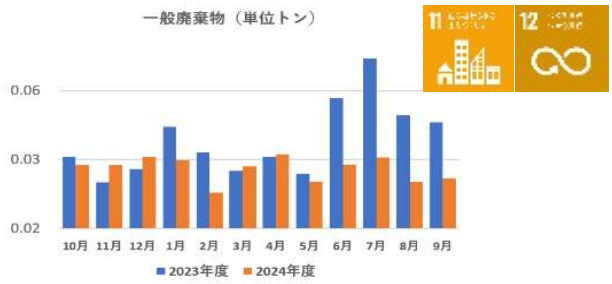
□環境経営目標及びその実績（全社）※LPG（本社のみ）は少量のため目標としていません。

項　目 ＼ 年　度		基準値 （基準年度）	2023年 （目標）	2023年 （実績）	2024年 （目標）	2025年 （目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	10,101 2020年	10,000 99%	8,766 87%	10,000 99%	10,000 99%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	102,593 2020年	101,567 99%	71,765 70%	101,567 99%	101,567 99%
売上高原単位	kg-CO2/千円	0.167	0.165	0.140	0.165	0.165
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	112,695	111,568	80,531	111,568	111,568
一般廃棄物の削減	t 基準年比	0.49 2020年	0.48 99%	0.34 71%	0.39 80%	0.34 70%
混合廃棄物の削減	t 基準年比	13.8 2020年	13.6 99%	9.1 66%	13.6 99%	13.6 99%
水道水の削減	m³ 基準年比	87 2020年	すべてのサイトで把握できなくなりました。			
化学物質の適正管理	行動計画					
技能・技術・管理能力の向上	行動計画					
地域清掃・ボランティアへの参加	行動計画					









□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：〇達成　×未達成
活動：◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	〇	本社だけでの計測になる為基準年に比べ減る傾向になります。 空調温度の適正範囲内での温度設定を守り、使用できたと思います。 今期の反省はエアコンの定期清掃が出来なかったことです。 事務所改修工事から3年が経過し、照明の汚れやエアコンのフィルターの汚れが蓄積がされているので定期的な清掃や、また、夜勤時や不在時の照明の小まめな切替で消費電力を押さえれると考えます。 今年はまた新たな基準年となるので来年以降引き継続したいと思います。
・空調温度の適正化（冷房28℃　暖房22℃）	〇	
・19時半以降は残業減らす。直行直帰の実施	〇	
・届出書・領収書。提出書類は期日厳守。	△	
・3S活動、整理整頓	〇	
・施工ミス・施工不良の削減	〇	

大阪	仙台	千葉
今期は基準年年度比105%と目標は達成できず昨年よりも多く電力を使用した結果となりました。 夏場のエアコン設定も27℃以下にすることなく風量での調整や風向きでの調取り組みましたが、夜勤作業を行っていた為、夜間時の照明点灯やコピー機の稼働などが使用量の増加に繋がったのかもしれません。 次年度はエアコンの温度だけでなく、照明やエアコンの定期的な清掃やこまめな不要照明の消灯など今一度再度周知し削減に繋げて行けたらと思います。	間借りの為評価できない。活動は出来ている。	間借りの為評価できない。活動は出来ている。

自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	〇	エコ目標でもあるエコドライブ月間にとどまらず、社内の車両にはエコドライブのマークを付け走行するようにしました。社員一人一人が運転するとき過度なスピードや、エンジンに負荷がかからない運転を心掛けるエコドライブを意識できたと思います。 今後も相乗りや忘れ物防止といった基本的なことに気を付けて運転マナーを実施したいと思います。
・アイドリングストップ・エコドライブ運転の実	〇	
・持ち物確認の徹底・忘れ物しない	△	

大阪	仙台	千葉
基準年度と比較し69%と目標達成しました。 工程調整し、長距離での現場はなるべく人員を固定したり宿泊手配したりなど無駄に移動することが無いよう工夫しました。近場現場でも道具資材を忘れで取りに帰ったりする事が無いよう段取りしたり、乗り合いできる場合は遅刻することが無いよう基本的な事ですが細かい事がガソリン使用量に繋がったと思います。 またガソリン代高騰という事もあり全員が経費削減の意識を持てていたと思います。	使用車両の減少に伴い、大半の月においてガソリンの消費量は減少されましたが、業務量の増加と稼働エリアの拡大に伴い、車両移動頻度も増えた為、受注数の多かった津につきましてはガソリン消費量が増加しました。また、今季夏の残暑により冷房の使用機機会も増えたこともその要因と思われます。夏季・冬季における冷暖房の使用については致し方ない部分もありますが、アイドリングストップ、効率の良いルート選定等、それ以外の部分でエコに繋がるよう今後も取り組んで行きます。	前年期は県外の現場が多かったということもあり今期は走行距離を抑えることが出来た結果、全体の消費量では目標達成となりましたが、月毎のガソリン単体での比較では消費量の増加が目立ちました。今後は、積み荷の事前確認・事前ルート確認・エアコン設定温度等エコ運転の見直しに取り組み消費量減少を目指します。

一般廃棄物の削減		
数値目標	〇	現場での産廃分別も事務所でのごみ分別も一人一人が心掛ける事が出来たと思います。会議での資料は出来るだけプロジェクターでの説明や出来るだけデータでの保存をし、紙出力をすることも以前に比べ減ってきました。結果ごみの量を減らすことが出来てきたと思います。
・分別の徹底	〇	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化・梱包材の再利用	〇	
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	
・使い捨てコップをプラスチックコップへ　マイカップ	〇	

大阪	仙台	千葉
夏場の現場作業時は熱中症対策が必須ですが、社内で飲み物を準備し、使いまわせるボトルを使用することで日々のペットボトルのゴミを減らすことが出来ました。 また事務所作業ではペーパーレス化に取組、出来るだけデータ管理する事で無駄紙を減らすことが出来ました。紙ごみ分別やシュレダーを活用し紙の完全に再生紙へと持っていくことが出来たと思います。	間借りの為評価できない。活動は出来ている。	2023年7月の事務所移転から他社様との事務所共有という体制の中、マイコップマイボトルの使用やゴミの分別の徹底、会議資料を映像化、壊れても棄てずに修理するなど、各自廃棄物削減に繋がる行動を意識してまいりました。引き続きの行動と共に、新たに出来ることを見つけ出し取り組んでいきたいと思います。

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
混合廃棄物の削減		
数値目標	○	以前は紙ごみでもリサイクルに回せない紙が入っていて回収段ボールなども出来るだけ再利用を各営業所でも呼び掛け周知し、分別と共に出来る事は頑張ってきました。今年度よりエコアクションに取り組まれている紙料会社様にご協力頂けたことにより、分別が徹底でき、紙ゴミの分別量が増えました。そのおかげで、一般ゴミ削減につながっています。現場によりけりな所もありますので、中々厳しい部分ではあるのですが、次年度も分別徹底を心掛け頑張っていきたいと思います。
・分別コンテナ（ボックス）の設置	○	
・工事現場での分別の徹底	○	
・リサイクル可能な処理業者への委託	○	

大阪	仙台	千葉
昨年より実施してる3S活動にて倉庫の整理整頓を維持することが出来ました。その結果不要な資材の購入や工具購入が減ったと思います。現場の内容によっては一時的数量が増えてしまいますが、全体的に基準としに比べると産廃量を減らせることが出来ました。 引き続き倉庫の整理整頓・資材管理に努め、不要な物を増やさない工夫を心掛けたいと思います。	廃棄無し	廃棄無し

水道水の削減		
数値目標		手洗い・うがい、トイレ使用等、どうしても水道が必要なケースは避けられませんが、小まめな対策等により多少の減少が見受けられました。コロナ禍により、来客者や協力企業社員の事務所の出入り頻度が減少した為、結果的に使用料の削減となりました。現状実施している節水対策をしっかりと継続していきます。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・ホースにストップノズル取付	○	

大阪	仙台	千葉
トイレ等の流す水の節水や、掃除時の節水には、みんな意識を持ってきを付けれたと思います。洗車時なども、引き続き、水の出しっぱなしや無駄使いには気を付けていきたいと思います。年に1回まとめて水道料金を請求されるため使用量は把握できません。	間借りの為評価できない。活動は出来ている。	間借りの為評価できない。活動は出来ている。

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
化学物質の適正管理		
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	作業ミスなど無いように徹底し、スプレーなども水性品を使うようにしていきます。

大阪	仙台	千葉
適正管理は出来ている	適正管理は出来ている	適正管理は出来ている

技能・技術・管理能力の向上		
・資格の取得	△	下半期は全社一括グループで各自が学んだことを報告するようにしました。大阪の社員も目標を確実に続けられるよう見直しました。千葉社員に刺激を受けたり他の社員が取り組んでいる事を知り、切磋琢磨しながらスキルアップに繋げられていると感じます。
・工期厳守 （現）	○	
・安全管理 （現）	○	
・作業前に近隣住民への声掛け実施 （現）	○	
・月に1度のスキルアップ講習 （内）	○	
・現場の6Sの徹底 （現）	○	

大阪	仙台	千葉
作業する前にKY活動を実施し、安全に作業できるよう確認いたしました。また、工期確認しながら進捗の把握をしました。 スキルアップに関しては新入社員にいますので入社時に現場での危険作業を事前に教育し、現場で直接教育指導しながら進めています。	他事業部等の災害周知などを共有し、労働災害防止を第一として施工に臨みました。車両移動の際に横断歩行者を発見した際には一度も怠ることなく、歩行者の方には安全に横断して頂きました。また、施工における災害のみならず身近に起こりうる事故や車両運転時の交通災害にも気を付け来期へ臨みたいと思います。	現場工事に対しては、危険個所を洗い出し、注意喚起を行って作業を行っています。引き続き、そういった連絡・周知・声掛けを徹底して安全第一と周囲への配慮に気を配って作業を行って行きます。

地域清掃・ボランティアへの参加		
・地域清掃の実施	○	4月と9月に地域清掃月間と会社周辺のゴミ拾いを実施しました。なるべく全員の揃う日を選定し社員一丸となって取り組みました。千葉仙台事務所でも実施し写真にて報告頂きました。 また今年は初めて子ども建設王国という子どもが建設業の職業体験することができるイベントへ参加しました。イルミネーションの設営を体験したり、電気スイッチを配線してみたりと仕事の事をより知ってもらう機会となりました。
・地域イベントへ参加	○	
・子供への職業体験	○	
	○	
	○	

□各工事事務所の活動紹介

本社

SDGSマークでの環境意識付け

地域清掃実施

熱中症対策
ペットボトルの廃止
使い回し容器を使用

エコポスターの掲示

千葉工事事務所

”地域清掃”近隣のゴミ拾い

節電対策
遮熱シート貼付

エコポスター掲示

事務所ごみ分別

仙台工事事務所

地域清掃活動実施

節電取組

エコポスター掲示

ゴミの分別

□環境上の緊急事態への準備及び対応

大阪工事事務所

緊急事態の想定:　火災

■実施日:　2024年9月10日	■実施場所:大阪工事事務所
■参加者:　田中・住本・岡本(理)・清水専務	■実施内容: 通報訓練・消火訓練・避難訓練
■評価:	手順書の変更の必要性　□あり　■なし

各自の役割を確認し、迅速かつ的確な行動がとれたと思います。

■実施状況の様子

◆ 通報訓練 ◆

◆ 消火訓練 ◆

◆ 避難訓練 ◆

千葉工事事務所

緊急事態の想定:　火災

■実施日:　2024年6月7日	■実施場所:千葉工事事務所
■参加者:　佐藤(清)、石田、野澤、宮本、佐藤(美)	■実施内容: 通報訓練・消火訓練・避難訓練
■評価:	手順書の変更の必要性　□あり　■なし

声掛けで連携をとり迅速に的確な行動が出来ました。

■実施状況の様子

◆ 通報訓練 ◆

◆ 消火訓練 ◆

◆ 避難訓練 ◆

仙台工事事務所

緊急事態の想定:　地震による火災

■実施日:　2024年8月20日	■実施場所:仙台工事事務所
■参加者:　渡邉、釼持	■実施内容: 通報訓練・消火訓練・避難訓練
■評価:	手順書の変更の必要性　□あり　■なし

落ち着いて、火災手順通り的確な行動出来た。

■実施状況の様子

◆ 通報訓練 ◆

◆ 消火訓練 ◆

◆ 避難訓練 ◆

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	大阪	千葉	仙台
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属ｸｽﾞ、廃プラ等）	○	○	○
	収集運搬業の許可	○	－	－
騒音規制法	特定建設作業の事前届出(元請申請)	○	○	○
振動規制法	特定建設作業の事前届出(元請申請)	○	○	○
フロン排出抑制法	業務用冷蔵庫・製氷機・空調機・スポットクーラー	○	－	－
労働安全衛生法	SDSリスク評価	○	○	○
消防法	消防点検	○	－	－

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等はこれまでありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：　2024年10月25日

今期、昨年に続き倉庫の5S活動を徹底的に取り組みました。倉庫にある資材を現場員が把握し、在庫のある物は買わない・適切な量の購入を推進し、以前に比べ産廃削減へ繋げることが出来ました。ガソリン使用量も受注現場によってきますが、可能な限り乗り合いを励行し、無理のない範囲での工程調整が出来ていたと思います。SDGsの取り組みも少しづつですが一つ一つの行動が環境に繋がる意識を持って行動して行ければと思います。
また今年は初めて子ども建設王国へ出展し、子供たちへ電気工事の魅力を発信できたと思います。今までこういったイベントの参加はあまりなかったのですが地域へ根付いた社会活動がもう少し出来ればと考えています。
千葉・仙台工事事務所の引越が完了するので、来期は2023年度を基準に数値目標を計画する。

環境経営方針	☑変更なし	□変更あり
環境経営目標・計画	□変更なし	☑変更あり（BCP・SDGs働き方改革などの要素を入れる）
実施体制	☑変更なし	□変更あり

□編集後記

今年は仙台・千葉事務所が移転してから一年目の年でした。今まで計測できていたものが出来なくなり、不透明なところもありましたが、気持ちは変わらず、毎月のエコ目標を掲げ、エコに対する意識を持ちながら取り組むことができたと思います。またSDGSのマークを社内表示してから一つ一つの行動が環境に影響するという事も少しづつ考え方が変わって来ていると思います。社員一丸となって引き続き取り組んで行きたいと思います。